

教科	科目	学年	単位数
地理歴史	日本史探究	3年	5
使用教科書		副教材	
『日本史探究』（東京書籍）		『図説 日本史通覧』（帝国書院） 『日本史用語集』（山川出版社）	

1. 学習到達目標

- ① 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- ② 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③ 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2. 評価

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。 諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想している。 考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論している。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。

・年3回の定期テストでは、出題範囲に関する「知識・理解」「思考・判断・表現」の状況を評価します。

3. 学習内容（右ページ参照）

4. 科目の特徴

「日本史探究」とは

「歴史総合」の学習によって身に付けた資質・能力を基に、我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに事、象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を探究する科目である。

近現代の歴史を内容とする第4編においては、多様な資料を効果的に活用して、歴史を考察し表現し、「歴史総合」で育んだ歴史の学び方を活用しつつ、我が国の歴史の展開や伝統と文化への理解を深める。

第4編の時代区分にはそれぞれ中項目が紐づいている。第1章では、時代の転換に着目し、その時代の特色について多面的・多角的に考察し、その時代を通観する問いを表現し、第2章では、さまざまな資料を活用し、第1章で表現した時代を通観する問いを踏まえ、その時代の特色について仮説を立て、第3章では、第2章で立てた仮説を踏まえ、主題を設定し、諸資料を活用して探究し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期について表現する学習で構成されている。

	月	単元	授業内容(教科書)	その他(到達目標・学習のポイントなど)	
1 学 期	4	第3編 近世の日本と世界	第3章 近世社会の展開 2節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺 1 享保の改革と経済の発展 2 近世社会の成熟と危機の始まり 3 幕藩体制の立て直し 4 幕藩体制の動揺	2節「近世社会の成熟と幕藩体制の動揺」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色を理解する。 時代を通観する問い、仮説をふまえて、近世の特色および近代へのつながりについて多面的・多角的に考察して表現するとともに、「近世の日本と世界」の学習について振り返り、次の学習へのつながりを見いだす。	
	5				
	6	第4編 近現代の地域・日本と世界	第1章 近代社会の幕開け 1 開国と開港 2 幕府の崩壊と明治維新	幕末から近代初頭の時期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	
2 学 期	7	《定期試験》	第2章 歴史資料と近現代の展望	資料から情報を収集して読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から近代の特色についての仮説を表現することを通じて、第3章に向けて、見通しをもった学習を展開できるようにする。	
	7		第3章 近現代社会の展開 1節 近代的制度の導入と新しい国際関係 1 制度改革と殖産興業政策 2 文明開化と教育制度の整備 3 東アジア世界のなかの明治政府 4 政府専制への批判	第1章で学んだ近世から近代への転換の理解や時代を通観する問い、第2章で表現した近現代を展望する仮説をふまえ、資料を扱う技能を活用し、近代から現代にいたる国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する学習を通じて 1節では、近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	
	9	《定期試験》	2節 国民国家と資本主義の成立 1 立憲政治の成立 2 対外関係の変容と日清戦争 3 産業革命と資本主義の定着 4 教育制度の整備と新しい文化 5 日露戦争と帝国日本 6 日露戦争後の社会と政治	2節では、立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	
	10				
	11	《定期試験》	3節 両大戦間期の日本 1 都市化・重工業化と生活の変化 2 政党政治とデモクラシー 3 国際社会のなかの日本 4節 第二次世界大戦と日本 1 昭和恐慌と立憲政治の動揺 2 中国侵略と戦時体制への移行 3 戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開	3節では、大衆社会の形成、アジアと欧米諸国との関係の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。 4節では、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。	
	12				
	3 学 期	12		5節 占領と改革 1 占領と日本国憲法の成立 2 冷戦の開始と経済復興 6節 国際社会への復帰と高度経済成長 1 国際社会への復帰と対米協調 2 高度経済成長 7節 アジア情勢の変化と経済大国日本 1 1970年代の国際社会と日本 2 安定成長への転換 8節 新しい国際秩序と日本の課題 1 激変する世界と日本 2 21世紀の日本	5節では、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。 6節では、我が国の再出発後の政治・経済や対外関係を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。 7節では、現代の政治や社会の枠組みを理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。
		1		大学入試対策	8節では、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解するとともに、思考力・判断力・表現力を養う。

